

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	体育実技Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0028		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	実技		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	物質化学工学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	「保健体育概論増補版」晃洋書房 近畿地区高専体育研究会編				
担当教員	中西 茂巳				
到達目標					
主体的にスポーツ文化を享受し、運動を楽しむ態度を身に付ける。また、生涯スポーツの実践者としての資質や能力を養う。実技とレポートの作成を通してスポーツに対する独自の見解をもてるようにする。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1					
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
準学士課程 (本科1～5年) 学習教育目標 (1)					
教育方法等					
概要	3年次までに習得した「保健・体育」の基礎学力、および4年次で学修した種々のスポーツ文化に対する知識や技能をいっそう高めるとともに、スポーツ文化の比較研究を通して、その多様性と具体的な取り組み方法について学ぶ。				
授業の進め方・方法	種目選択性を導入することにより、自主的に運動を楽しむ態度やそれに伴う社会的責任について考える力を養う。				
注意点	関連科目：保健・体育Ⅰ～Ⅲ、体育実技Ⅰ 学習指針：日頃より、健康的な生活を過ごせるよう留意し、身近なスポーツ文化に対する関心をもつようにすること。 自己学習：文化としてのスポーツに対する関心を高め、それらに関する情報収集を主体的に行っていく必要がある。				
学修単位の履修上の注意					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	体力・運動能力調査	文部科学省が定める「新体力テスト」を実施し、自己の体力・運動能力を把握する。	
		2週	体力・運動能力調査	文部科学省が定める「新体力テスト」を実施し、自己の体力・運動能力を把握する。	
		3週	ソフトボール	4年次までの習得した技能を生かし、ゲームを行える。	
		4週	バレーボール	4年次までの習得した技能を生かし、ゲームを行える。	
		5週	バスケットボール	4年次までの習得した技能を生かし、ゲームを行える。	
		6週	バドミントン	4年次までの習得した技能を生かし、ゲームを行える。	
		7週	テニス	4年次までの習得した技能を生かし、ゲームを行える。	
		8週	サッカー	4年次までの習得した技能を生かし、ゲームを行える。	
	2ndQ	9週	卓球	4年次までの習得した技能を生かし、ゲームを行える。	
		10週	選択制①	自ら種目を選択することにより、スポーツを愛好する態度を持つ。	
		11週	水泳 (水球等)	4年次までの習得した技能を生かし、ゲームを行える。	
		12週	選択制②	自ら種目を選択することにより、スポーツを愛好する態度を持つ。	
		13週	選択制③	自ら種目を選択することにより、スポーツを愛好する態度を持つ。	
		14週	選択制④	自ら種目を選択することにより、スポーツを愛好する態度を持つ。	
		15週	比較スポーツ文化論	レポートの執筆方法及びまとめ方について理解する。	
		16週	まとめ	15週の取り組み状況を総括できる。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	技能習熟度	レポート	実技課題取組	合計	
総合評価割合	20	20	60	100	
基礎的能力	20	20	60	100	